

平成21年2月14日
国土交通省
富士砂防事務所

富士山周辺で発生が懸念されたスラッシュ雪崩の監視・調査結果について

1. 概 要

国土交通省 富士砂防事務所は、2月13日～14日にかけて、富士山周辺でスラッシュ雪崩発生の可能性が大きくなったものと判断したため、カメラによる監視及びヘリコプターによる上空から発生状況調査を行いました。

結果、カメラによる監視では異常は確認されませんでした。また、ヘリコプターによる調査では、富士山東側斜面で雪崩の痕跡が見られたものの、スラッシュ雪崩の発生による被害は確認されませんでした。

2. 監視及び調査の結果

2月13日～14日にかけて、富士山頂の気温はマイナス2.2度まで上昇。

(前日最低気温マイナス13.4度から11.2度の上昇)

降水量は富士砂防事務所 御中道観測所(標高2,350m)で連続雨量26mmを観測。(降り始め13日21時、降り終わり14日6時)

スラッシュ雪崩等の発生についてカメラにより監視しましたが、大沢川を含め富士砂防事務所が事業を行っている溪流で異常は確認されませんでした。

また、ヘリコプターにより富士山周辺を上空から調査した結果も、富士山東側斜面(太郎坊周辺)で雪崩の痕跡(別添:写真)が見られたものの、スラッシュ雪崩の発生による被害は確認されませんでした。

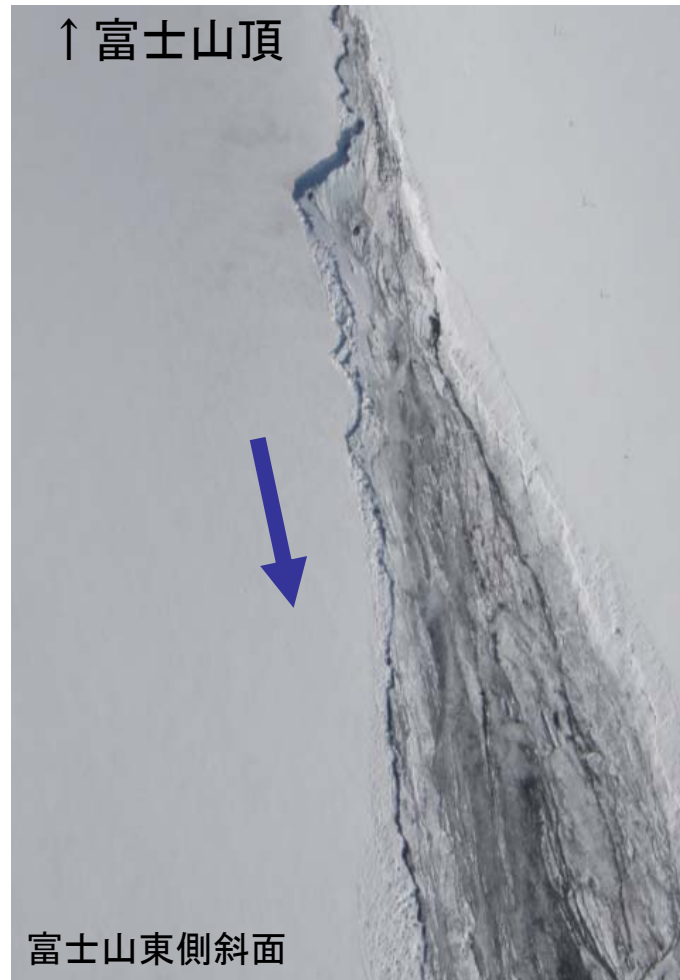
3. 配布先: 富士市記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士吉田市記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 富士砂防事務所

電話: 0544-27-5387 (直通)
調査・品質確保課長 永井健二

ヘリコプターから撮影した雪崩痕跡写真



発生箇所図

